

生徒が考えた部活動の意義について（R5年度の部活動アンケートより）

○部活動で得られたもの

- ・学年を越えた縦のつながり、人間関係、コミュニケーションスキル、協調性、柔軟性、友達づくり、課題解決能力
- ・目標に向かうことの良さ、どうしたら達成できるか考える力、調整力や分析力
- ・チームワーク、人と何かに向かうこと
- ・リーダーシップ、フォロワーシップ
- ・時間を上手に使う力
- ・新しいこととの出会い（人、競技、等）

○最初は部活に入りたくなかったが今ではこの中学校生活で部活が一番大切でやりがいがあったものだと感じている。

○中等部に入學して仲良くなったのが同じ部活の子だった。部活をしていたお陰で交友関係が広がって良かった。

○中1の頃、まだ友だちができなかったときに、部活の同級生や先輩が話し相手になってくれた。

○これまでやってこなかったことに挑戦する機会になった。

○勉強と部活をすることで時間の使い方を学べる。

○仲間と協力する大切さや、どうしたらもっと上手くなるかを考える思考能力や分析力、やり遂げた後の達成感やリーダーシップ・フォロワーシップ等、部活動で得られるものは大きい。

○部活動でしか得られない、人間関係・スキルといった学べることがたくさんある。

○部活に入って、スポーツの楽しさや体力づくりのきっかけになった。

○部活は小学校と中学校の一番違うところで、醍醐味だ。

参考：準加入制から任意加入制になると

- ・みなさん自身の判断で「入る、入らない」を決めることとなります。任意加入といっても、中学生という多感な時期における時間は、とても貴重な時間です。目先のことだけにとらわれずに、部活動や校外活動で得られることを考え、放課後の過ごし方等については、家族とよく話し合しましょう。
- ・これからの部活動は「必ずやりなさい」ではなくなり、自分の意思で自主的に参加するということです。これまでの部活動を極める、あるいは新しい活動に挑戦する等を通して新しい自分に出会いましょう。
- ・部活動に「入る、入らない」を自分で決めることは、自分の生き方に責任をもつことでもあります。部活動に入る選択をしたなら、より良い活動時間になるよう前向きに活動に取り組みしましょう。また、部活動に入らない選択をしたなら、部活動に充てていた時間を有効に使いましょう。